

ハサミをうまく使いこなそう 解説編

1. ハサミを使うために必要な力は何かな？

ハサミを使うために必要な力は、次の3つの力が考えられます。

- ①はさみを空中で保持する。
- ②はさみで切る。
- ③線に沿って切る（目と手の協応）

それぞれの活動によって、支援の方法や遊びが異なります。

2. 「はさみを空中で保持する」ために

「①はさみを空中で保持する」力は、ハサミを使いこなす基本的な力となります。ハサミを持って手首が垂れないように、手首を立てて保持するのです。はさみを空中で持ち続けるには、まず、手や腕を支える体幹の力が必要になります。体幹にしっかり力が入り、手や腕を支えることができるようになると、手先の細かな運動が可能になります。体幹の機能を高める遊びを十分取り入れるようにしましょう。

体幹がしっかりすると、手首を立ててハサミを持つことができるようになります。この時多くの子どもたちは、ハサミを持ったまま、肘を体から離し、手の甲が上になるような持ち方（回内位）で切ろうとします。この切り方では刃先が横になるためうまく切れません。放送ではゴールドは上から切っていましたが、これはめずらしい切り方です。支援としては、両肘を机につけて切るようにすると、手の位置が安定するので切りやすくなります。

3. 「ハサミで切る」には

次に、「②ハサミで切る」をみてみましょう。はさみで切るには「1回切り」と「連続切り」があります。子どもたちには「1回切り」の方が簡単な動きになります。まずは「1回切り」から始めましょう。この時、切るもの（紙など）は指導者が持つようにします。子どもは切るだけにします。

「1回切り」では、「はさみを閉じる（切る）」と「ハサミを開ける」という2つの動作が含まれます。子どもにとっては「ハサミを閉じる（切る）」方が簡単なようです。まずは、1回切ることから始めます。逆に、切ってから、ハサミがなかなか開けられない子どもがいます。うまくハサミを開けられないときは、指導者が開けるようにします。慣れてくると、ハサミを閉じたり開けたりする動きもやってみましょう。「連続切り」のときも、切るものを指導者が持って切らせます。「連続切り」では、ハサミを数回切り進めると、切れてしまうものを準備するようにしましょう。

最後に、「ハサミと反対の手で紙を持って切る」課題に移ります。この課題では、両手の動きをうまく協応させなくてはなりません。幼児や協調運動が苦手な児童では、片手を動かすと反対の手が同じように動いてしまう運動（連合運動）が見られることがあるので、注意しておく必要があります。



4. 「線に沿って切る」ために

線に沿って切るためには、目が手の動きをリードしなければいけません。「目と手の協応」が求められる課題です。指導のポイントは、連続切りがある程度できるようになってから線に沿って切らせる課題を行うことです。また、1枚の紙には1つの線や形を描いておくようにします。1枚の紙にたくさんの線や形があると困難度が増すからです。

切る線は、「直線→斜め線→曲線→角→閉じた形」の順に進めるとよいでしょう。切ることがうまくできないときには、線の太さを太くすると、切りやすくなります。

切る紙は、コピー用紙のように柔らかい紙でなく、画用紙のような少し固めの紙の方が、安定して切ることができます。

5. 活動を遊び化してみよう

番組では「①はさみを空中で保持する」「③線に沿って切る」を取り上げ、その機能を高める遊びを紹介しました。

(1) ざるで運ぼう



ざるに利き手の親指をひっかけ、他の指をざるの下に添えます。ざるに物（例えば、水の入ったコップ）を置いて、水をこぼさずに運ぶゲームです。この遊びでは、手首が下がらないように、手や腕をしっかり支えることをねらいにしています。

(2) いろいろなものを切ろう

番組では紹介できませんでしたが、「一回切り」で切る時には、「紙」の前にいろいろなものを切ることが楽しい遊びになります。例えば、①ひも、②包装のプチプチ、③薄い段ボール、④枝豆(枝から切り離す)、⑤スパゲッティ(短く切って、ゆでてサラダに)、⑥おやつが入った包装紙などです。番組で、ゴールドはおにぎりにまく「海苔」を切っていました。切ることを楽しむとてもよい課題だと思います。ハサミが使いにくい場合は、いろいろな大きさのハサミを試してみましょう。

(3) 紙に描いた線を切ろう



番組では、S字の線を切りました。子どもたちはとても熱心に切ることができていました。「線に沿って切る」ことは、子どもによっては「チャレンジ」となって、その活動自体を楽しめる場合があります。でも、「単調な練習・訓練」になることもあるので注意してください。切った紙片を、クリスマスの飾りに使う、お誕生カードに貼る、などの目的を持たせることが子どもたちの意欲につながります。